

経営比較分析表（令和2年度決算）

岐阜県 揖斐川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	該当数値なし	46.62	1,617	

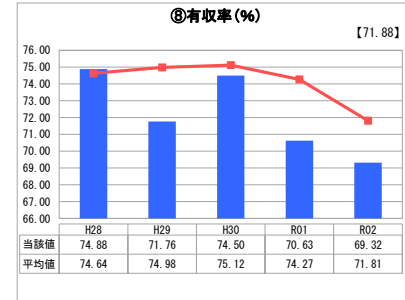
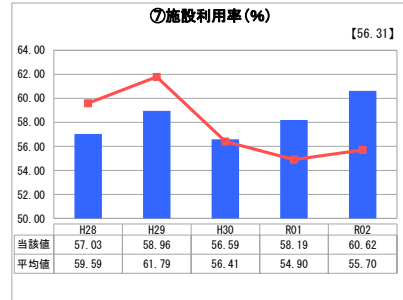
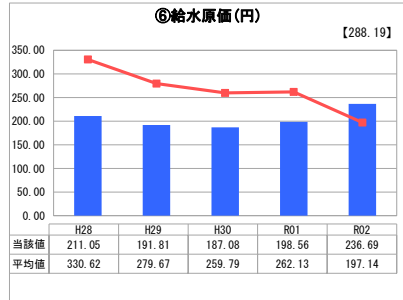
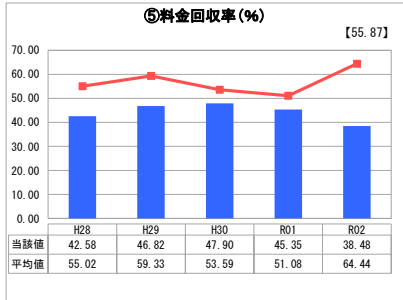
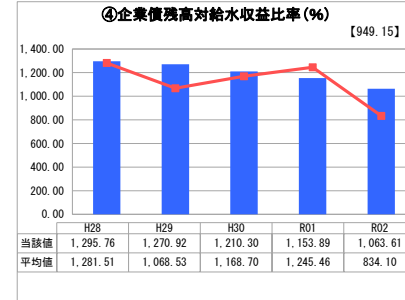
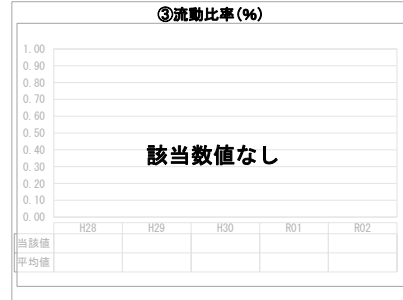
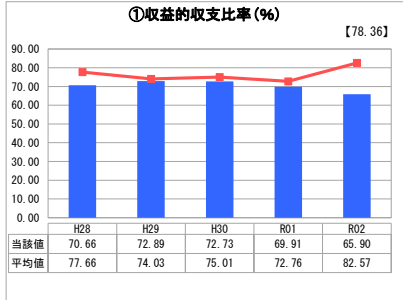
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
20,459	803.44	25.46
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
9,452	26.43	357.62

グラフ凡例

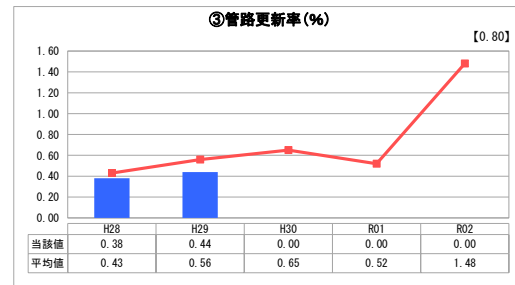
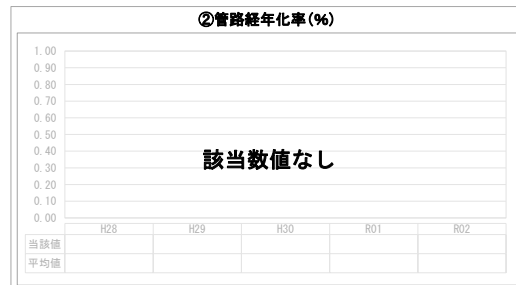
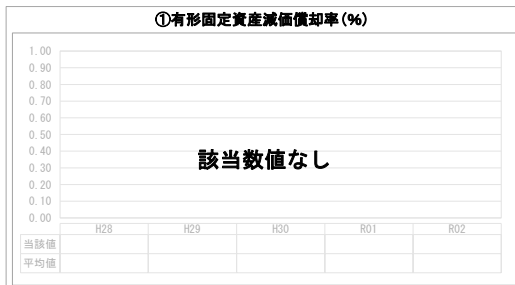
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、類似団体平均値に比べ低い水準にあることから、より一層の経費の削減に努め、料金改定についても検討し、健全経営に努める必要がある。④企業債残高対給水収益比率は、類似団体並みであるが高値となっている。管路及び機器等の更新の際には企業債を借り入れているため、今後料金改定も含め検討し、経営改善に努めていきたい。⑤料金回収率は、類似団体平均値に比べ低い値となっている。一般会計からの繰入金に頼っているため、料金改定を含め検討する必要がある。⑥給水原価は、類似団体平均値を上回っており、今後老朽管や機器の更新による投資的経費の増加が見込まれることから、更新な維持管理費の削減に努めていきたい。⑦施設利用率は、施設の統廃合が可能な施設を検討したり、施設規模の見直しの検討も行い適切な施設規模となるよう努めたい。⑧有収率については、安定に供給できるよう今後、漏水調査や計画的な老朽管の更新により有収率向上に努めていきたい。

2. 老朽化の状況について

③管路更新率は、0%で類似団体平均値よりは低くなっている。今後、耐震化を踏まえた管路及び機器の更新を実施する必要があるため、計画的に更新していきたい。そのためには、財源が必要となるため、料金の改定について検討する必要がある。

全体総括

経営の健全性・効率性では、給水収益では賄えず一般会計からの繰入金により経営を維持している状況であるため、料金改定について検討する必要がある。また、漏水調査等により有収率の向上に努めていきたい。老朽化の状況では、今後耐震化を踏まえた管路の更新や機器の更新など計画的な水道施設の更新が必要となり投資的経費の増加が見込まれるため、料金改定を検討し経営の安定化を図る必要がある。